

BA Ambitious. 志物

明日は学芸発表会！！

10月27日(土)は学芸発表会です。これまで準備期間として、展示部門は展示準備、舞台部門は発表の準備に取り掛かってきました。実行委員をはじめ、各係の人達が放課後に残り、がんばってきましたね。有志で手伝ってくれている人たちの姿も見られ、先生たちとしても、うれしい場面が多々ありました。今回の行事を成功させよう！という気持ちを見てとることができました。

舞台部門では合唱コンクールや弁論の発表が予定されています。

弁論

A組

B組

C組

運河学習

A組

B組

C組

合唱コンクール取組

朝練習、放課後練習と時間を重ねることに合唱はだんだんと良くなりました。明日はいよいよ本番ですね。「練習は本番のように、本番は練習のように」とよく言われます。緊張しすぎて、普通の歌声が出せない、なんてことにならないように、「練習でできたことをもう一度。」と落ち着いて発表できるとよいですね。緊張したり、焦ったりすると指揮もピアノも、歌声も早くなってしまうことがあります。ゆっくり、落ち着いて、自分自身も会場の空気を楽しみながら歌いましょう。



海外派遣の募集！まだ間に合います！！

平成31年8月7日（水）～16日（金）の間、オーストラリアのパース市に行き、ホームステイと現地校の入学をする生徒を募集しています。応募する生徒は書類を10月31日（水）までに提出してください。

弁論 C組

言葉の乱れ

C組

最近、若者言葉というものが流行っている。若者言葉とは、主に女子高生などがつくり発信する、元は日本語になかった言葉のことでJK用語とも呼ばれている。表現しにくい感情や様子などを表すことができることはとても便利で良いことなのだが、短縮を求めたり、工夫を凝らしすぎたりして、一般人には理解できないまでの言葉が増えていることに関しては、そこに「言葉の乱れ」が生じているということになる。

言葉の乱れとは、個と番が時代とともに変化していき時に生まれる表現力の低下や違和感のことだ。言葉の変化だけならメリットもある。例えば堅苦しさが無くなる、短くて使いやすいなどである。しかし、意味を合わせすぎてつくられた言葉のデメリットの例で言うと、「すごい」「おいしい」「気持ち悪い」などの気持ちや状態を表現するときによく使われる「やばい」という言葉。普段私たちが何気なく使っているこの言葉のもとの意味を知っているだろうか。昔は、「危ない」「具合が悪いこと」などを表すための言葉だったらしい。普段使っている中では便利だと感じるが、実は不便な点もたくさんある。例えば、「あの人、やばい！」と言った時、その人がすごいのか、おかしいのか、色々な意味が考えられる。若者言葉の乱用により、ひじょうに語彙力が低下したことの例である。デメリットはほかにもある。社会に出てからのビジネスシーンで特に新入社員が雑な言葉「マジ」「超」などの友達に使うような言葉を上司などの目上の人に使ってしまうと、その場の雰囲気や凍りついてしまったりと、様々な人からなれなれしい、マナーがなっていない、と思われたりしてしまう。そう思う人は10代、20代よりも、今の30代以上の世代の人に多い傾向がある。私たちの世代からすれば当たり前に使っていて、いちいち説明しなくても伝わるような常識と思える言葉でも、その世代の人からすれば、まったく意味の分からないことが多い。それが原因でトラブルになり、不快に思う人が出るということも珍しくない。しかしこのような人がいるのと反対に、「言葉の乱れではなく、言葉の変化だ」という人もいる。そのような人の考え方は「時代とともに言葉が変わるのは当たり前、新しい言葉が出てきて普通」ということらしい。

このように、私たちは「若者言葉」という非常に便利な言葉を使って生活している中で、メリットがある反対にデメリットもあるということを忘れてはいけない。若者言葉のすべてを否定するというわけではなく、否定の意見を全く取り入れないというわけでもなく、私たちは若者言葉を使う上で、使う相手や時、場所を考慮して使わなくてはならない。最近是非常に日本語の乱れが目立ってきている。そのため、私たちは日頃から日本語の使い方について見直していくことが必要だ。